



# 浜小だより

茅ヶ崎市立浜須賀小学校

2023年6月30日

7月号

学校教育目標 「未来をひらく浜小の子」～遊ぶ 学ぶ 助け合う～

校長 青柳 和富

## 「教え、寄り添い、認めて伸ばす」

5月の「土曜参観」、並びに6月の「地域参観」に際しましては、多くの皆様にご来校いただき誠にありがとうございました。土曜参観日には、授業開始直前までたくさん子どもたちが正門で保護者の入り待ちをするなど、微笑ましい姿が見られました。また、地域参観は3日間という設定で参観者が分散し子どもたちを身近に感じる距離からご参観いただけたこと、子どもたちも保護者や地域の皆様に見ていただくことに慣れてきたことから、より日常に近い子どもたちの姿をご覧いただくことができたことと思います。お子様の活動の様子を温かかつ真剣に見つめる皆様のまなざしを目の当たりにして、改めて学校教育が担う責任の大きさを痛感いたしました。「百聞は一見に如かず」の言葉通り、当日皆様の目に映った教室の様子が今の本校の教育活動の事実となります。できているところはより充実を図り、課題については改善に向けて取り組む中で、次の授業公開の機会である秋の運動会では、さらに成長した子どもたちの姿を皆様にご覧いただけるよう努めてまいりますので、引き続き本校の教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

同期間に実施した「大津波警報解除による引き取り訓練」に際しましては、訓練の趣旨をご理解いただくとともに、スムーズな引き取りにご協力くださりありがとうございました。引き取りに先立って実施した全校児童がそれぞれの校舎の3階に移動する津波避難訓練は圧巻の一言でした。地震が収まった後、1・2階に教室を配置している仲よし級と1～4年生が津波の被害を避けるために階上の高学年の教室や廊下等に避難するという想定で実施したのですが、移動時の足音が聞こえる以外は、全ての校舎が水を打ったように静まり返っていました。避難後に各棟を巡回した際には、本当に子どもたちがいるのかと思ってしまったほどです。チーム浜小として子どもたちに学年相応の資質・能力を身に付けさせられるよう指導の積み重ねに努めているところですが、活動の意味を理解し行動できる子どもたちのポテンシャルに感銘を受けるとともに、山本五十六氏の名言「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば人は動かじ」を思い出しました。

失敗体験から学ぶこと、成功体験から学ぶこと、その価値の捉えは人それぞれですが、学齢期の子どもたちにとって成功体験は次の活動への原動力に繋がりがやすいため、学校では系統的なカリキュラムの中で子どもたちの達成感や自己有用感を高められるよう教育活動を計画し実施しています。範示し、伴走し、達成したら価値付けする。時間はかかりますが、頑張ったことを認められれば誰でもやる気が増します。基本的な生活習慣や学習規律の確立はもちろん大切ですが認められる機会がなければ子どもたちは育ちません。

五十六氏の言葉の続きにあるように、教えることに加え、任せて育て、信頼して充実を図ることが大切であることから、本年度の本校の重点目標の一つである「うごく力（主体性）」の充実に向けても引き続き取り組んでまいります。

やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、  
ほめてやらねば、人は動かじ。

話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば  
人は育たず。

やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば  
人は実らず。

山本五十六

